

ブラジルホストタウンの取り組みについて

1 ブラジル選手団の事前合宿の予定

	競技数 選手団人数	競技名	合宿予定日数
オリンピック競技 (7月24日開幕)	7競技 162人	野球／ゴルフ／新体操／柔道／ボート／ラグビー／卓球	22日間
パラリンピック競技 (8月25日開幕)	19競技 397人	アーチェリー／陸上競技／バドミントン／ボッチャ／カヌー／5人制サッカー／ゴールボール／柔道／パワーリフティング／ボート／シットイングバレーボール／水泳／卓球／テコンドー／トライアスロン／車いすバスケット／車いすフェンシング／ウィルチェアラグビー／車いすテニス	14日間

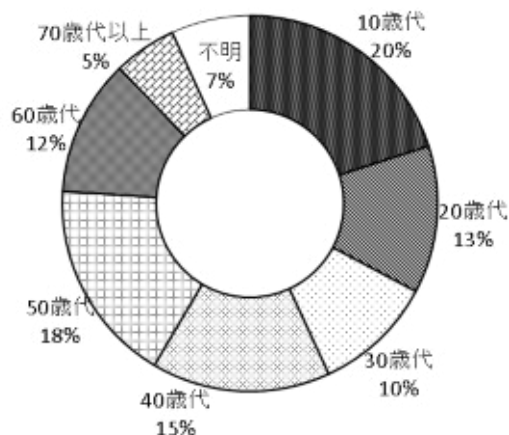
※ 競技数と選手団人数、合宿予定日数は、協定書に記された最大の数値。

※ 予選結果などにより出場できなくなる場合がある。競技によって異なるが、最終的に5月頃に出場者が決定する。

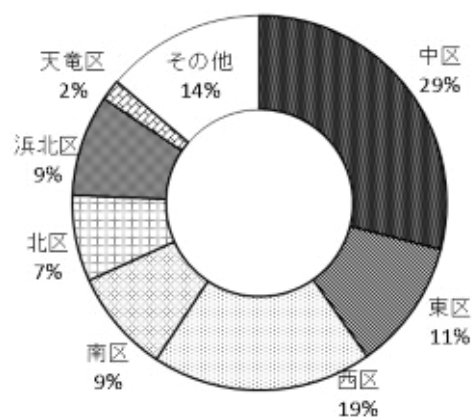
2 Torcida BRASIL について

- ・ 12月末日現在=1,545人
- ・ 平均年齢≒39歳（10代～20代の割合が全体の1/3）

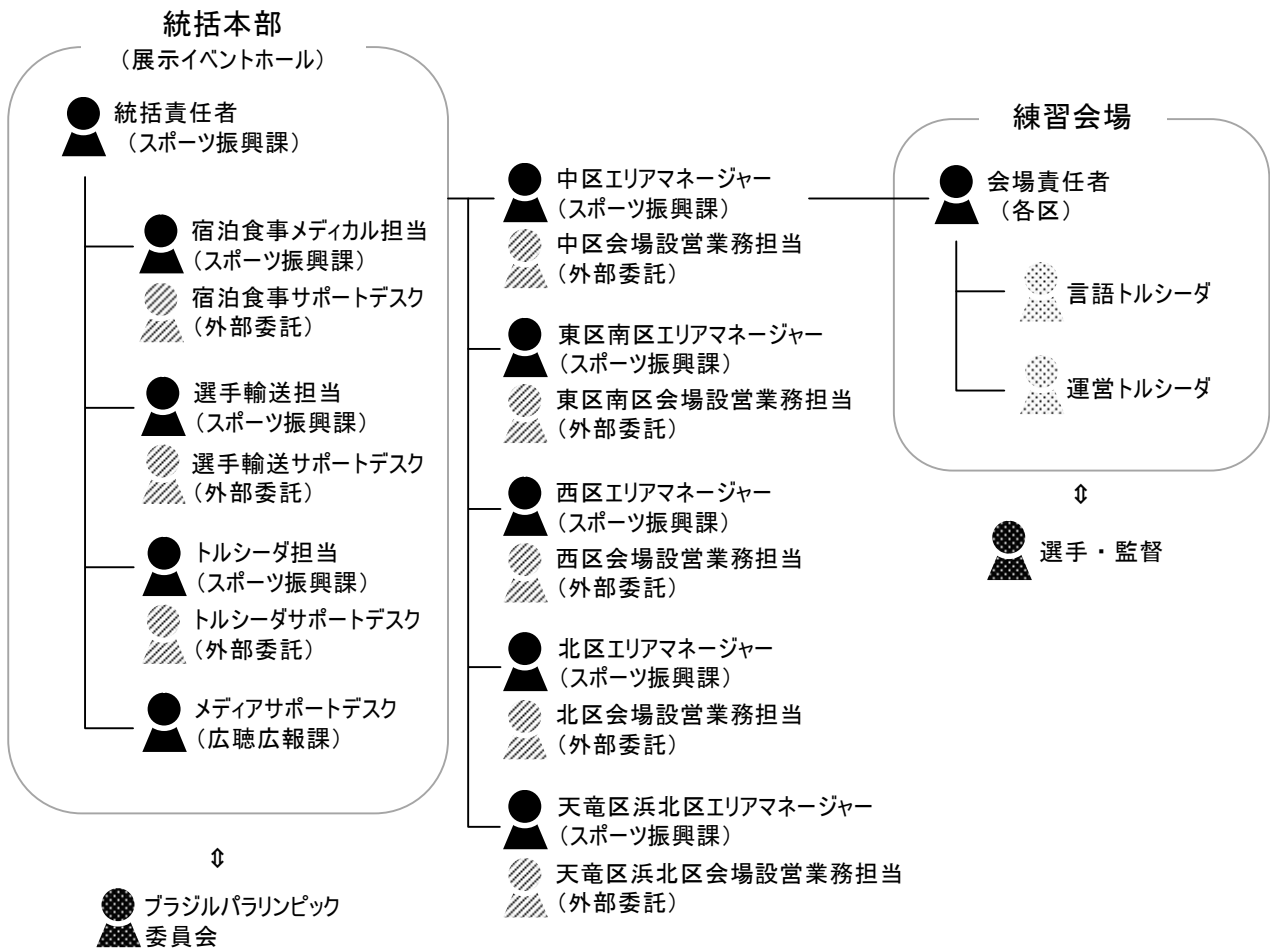
<年齢層>



<エリア別>



3 ブラジル選手団（パラリンピック）受け入れ体制



(1) 統括本部

- ・ 選手団の窓口として、宿泊や食事のサポートを行う。
- ・ 選手団の輸送を一括管理し、効率的なバスやタクシーの配車を行う。
- ・ トルシーダの窓口として、練習会場への配置や問い合わせなどを対応する。
- ・ メディアからの窓口として、情報発信のサポートを行う。

(2) エリアマネージャー (5)

- ・ 練習会場と統括本部との調整を行う。
- ・ エリアごとに会場設営を行い、練習環境を整える。

(3) 会場責任者 (19)

- ・ 会場責任者が中心となり、トルシーダとともに選手団の練習をサポートする。

4 レガシーの考え方

- ・ ブラジルホストタウンの目的は「共生社会を更に進化させる」ために行うもの。
- ・ Torcida BRASIL を中心に、市民に根付いた心のユニバーサルデザインを土台として共生社会を前進させる取り組みを進める。(別紙参照)